

[設問]

以下は、日本のアニメーション業界における動画単価に関して述べられている文章です。

(1) 下記の文章の内容を、英語で要約しなさい(150words 以内)。

(2) 下記の文章の内容について、あなたの考えを日本語で自由に述べなさい
(400 字以内)。

それでは意図的にでも動画単価を上げたらと考えたりもするが、これは需要と供給のバランスで決まるものなのでそう簡単に動かせるものではない。かつて筆者はこの単価が問題だと考えて、亡くなられた今敏監督にある時「動画の単価を上げるために何らかの補助制度を導入してはどうか」と尋ねたことがある。すると監督は即座に、「そんな必要はありません」と明言されて驚いた記憶がある。監督曰く、アニメーターというのは非常に厳しい職業であり、一時的にそういう措置を取っても何ら本人の役に立たない。向いてない人間は早く見切りをつけるべきという意見であった。監督の作品を担っている優秀なアニメーター諸氏も同様の意見であり、トップに位置する人間ほど自分たちの職業に対して厳しい見方をしていることがわかった。おそらく彼らは最速で動画課程を終えて原画に入り、それほど間を置かずトップになった人々であり、巷間で言われているアニメーターの経済的イメージとはまったくちがったレベルにあるのだろうが、その職業観には説得力があった。

[出典]増田弘道『デジタルが変えるアニメビジネス』、NTT 出版、2016、pp. 205-206.